

マツグミ

Taxillus kaempferi (DC.) Danser

ヤドリギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内の生育地はごく限られており、全国的な分布域からも貴重である。(現況:R-)

形態

葉は革質で全縁、先は丸く、下部はしだいに狭くなって葉柄に流れ、両面無毛である。葉腋から出る花序は1~4個の濃紅色の花をつけ、夏に開花する。分枝が多く、葉は密生する。

国内分布

本州(関東地方以西、富山県以西)~九州に分布する。

県内分布

口能登区、加賀中央区、南加賀区のヤブツバキクラス域に隔離して分布する。

生態など

クロマツ、アカマツ、モミなどの針葉樹に寄生する長さ20~50cmの常緑の低木である。開花期は8月。果実は翌春に赤く熟す。種子を含む粘液層があり、熟すると甘くなる。筒部が長い赤い花はメジロなどの鳥の花粉媒介が推定され、種子も鳥にとって散布される。

生育環境

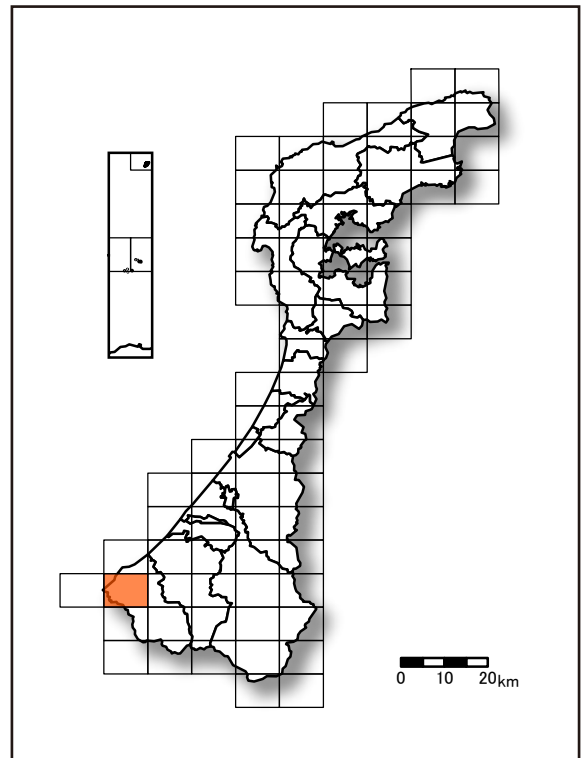
標高50~600mの低地や山地の比較的良好な光の当たるクロマツやアカマツの枝や幹に寄生している。

危険要因

森林伐採、自然遷移。



本多郁夫・2008年8月1日・加賀市



県内の分布